

## 総合的な学習の時間 (福祉学習の一環) 手話を学ぶ

藤沢市立御所見中学校

### 単元(題材) 目標

- 誰でも安心して生きる社会を作る一員となる。  
そのために支援の必要な人がいること、その方々の実情を知る、そして、ふれあう機会を作り、その中から、自分がどのように生きていくことが大切なのかを考える。

### (1) 実施時期

- 福祉学習 7月～10月
- 手話を学ぶ 9月上旬

### (2) 対象(学年等・人数)

- 第3学年 115名, 教員5名

### (3) 指導者(教諭・外部講師等)

- 本校教員5名
- 福祉学習: 車いすバスケットの選手, 指導者やローリングバレーの実践者
- 手話: 手話通訳士と聴覚障がいの方2人

### (4) 実施内容

#### <福祉学習>

- 外部講師を学校に招いて、共に活動し、ふれあう中で、交流を深め、共生社会について考えた。

#### <手話>

- 手話通訳士の自己紹介とお二人の耳の不自由な方の自己紹介。  
この中で、耳が聞こえなくなった時期(年齢)によって、手話の使い方(手話の体得状況)も違ってくるし、話すことも可能であると説明を受ける。
- 中学生の日常生活の言葉を手話に直していく(中学生も自分の手を使って、表現する)
- 手話とは、難しいコミュニケーションの手段の一つではなく、日々の生活の中に、存在しているものでもあることと心を伝え合うことの大切さなど、説明を受ける。
- 歌「ハッピー バースデー トゥー ユー」を手話を交えて歌う。

### (5) 成果

- 神奈川県手話言語条例をうけて、多くの子どもたちに手話を身近に感じ、手話を体験させたいと考え、そのねらいは達成できたと感じた。
- 手話通訳士の仕事について知る機会となった。
- 指文字表(50音)をいただき、手話を実践できる準備を整えた。
- 時間の経過とともに、子どもたちの集中力と目の輝きの変化が印象的だった。